

PRESS RELEASE

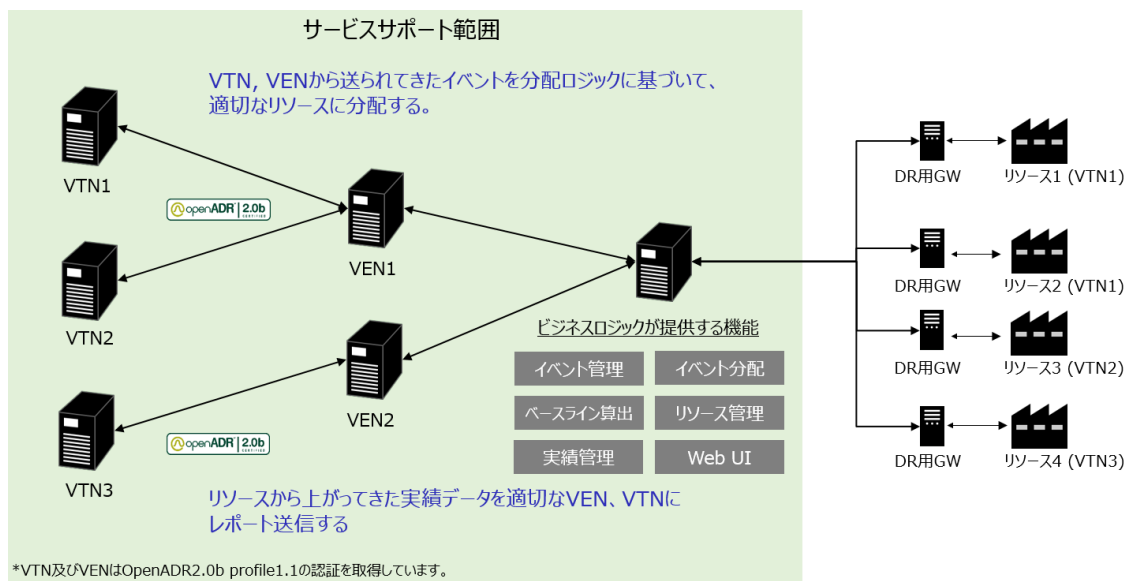
報道関係各位

2020年1月29日
株式会社 Grid Solutions

OpenADR2.0b と連動したバーチャルパワープラント(VPP)アグリゲータ向けの ワンストップ・クラウド・サービスを開発

デマンドレスポンス(以下、DR)に関するソフトウェアを開発する企業である株式会社 Grid Solutions が OpenADR と連動して分散エネルギーリソースを制御するクラウドサービスの BlueDevils-Business Logic を開発しました。

【BlueDevils-Business Logic の OpenADR 接続イメージ】



BlueDevils-Business Logic の主な機能

■ イベント管理/分配

- ◇ 電力事業者(VTN)から受信した DR イベントの内容に応じて需要家情報、ベースライン情報に基づき、DR イベントを作成し、アグリゲータから需要家(リソース)へ分配する機能です。
- ◇ VEN から DR イベントを受領後、DR イベントに応答します。
 - 1) 需要家(リソース)の制御実績(電力の使用状況)に基づいてベースライ

ンを算出する。

- 2) リソースの制御実績と電力の制御コストを元に、指令値を分配する。
- 3) 分配結果から DR イベントへの参加可否を判断し、VEN に応答を返す。

■ 実績(レポート)管理

- ◇ リソースからの実績情報を取得、管理する機能、及び VEN 経由で電力事業者(VTN)へ送信する機能です。また、実績推移・分析を行い、DR イベントを自動分配するための情報として使用します。
- ◇ 実績管理は主に「リソース実績登録」、「リソース実績集計」、「レポート送信」の 3 つの機能を有します：
 - 1) 「リソース実績登録」では各リソースからの実績を受信し、データベースに登録する。
 - 2) 「リソース実績集計」ではリソース実績の集計要求（スケジュールベース）を受信し、VEN に実績を送信する。
 - 3) 「レポート送信」では集計したリソースの実績を VEN に送信する。

■ ベースライン計算

- ◇ ベースラインとは需要抑制が無い場合の需要電力量の推定値です。DR イベントにおける需要抑制量はこのベースラインと実際の電力需要量の差分として算出されます。
- ◇ 各リソースから集計される実績に基づき、ビジネスロジックはベースラインを算出しており、平均化法（High 4 of 5：直近の 5 日間のうち、電力使用量の高かった 4 日分のデータ）を採用しています。

■ 需要家(リソース)管理

- ◇ 各需要家の保有リソースの負荷情報、ベースライン、及びその他需要家に関する情報の管理を行う機能です。

OpenADR (Open Automated Demand Response)とは

OpenADR は、電力会社、アグリゲータ、電力消費者間で電力抑制に関する DR シグナルをやり取りするための国際的標準規格です。OpenADR 2.0b は、経済産業省の「デマンドレスポンス・インタフェース仕様書(1.0 版)」のベースとなった他、2019 年には国際電気標準会議 (IEC) が制定する国際規格 (IEC-627460-



10-1 ED1) を認可されました。

お問い合わせ先

株式会社 Grid Solutions

代表取締役 高橋 洋平

〒108-0014 東京都港区芝 4 丁目 6-16-1004

Email : info@gridsolutions.co.jp

URL : www.gridsolutions.co.jp